

盛岡市のルネッサンスルパン

注文業務のゼロ化を支援

盛岡市中央通りのソフトウェア開発、ルネッサンスルパン(中島利晃社長、資本金1千万円)は3月から、飲食店の人手不足と注文ミスの改善につながるセルフオーダーシステムのソフトウェア製品「シートダイレクト(Seat Direct)」を発売した。テーブルのタブレット端末から客が直接注文する大手チェーン向けのシステムを、個人店や小規模店向けに新たに開発。接客の機会が減るため新型コロナウイルスの感染予防にも役立つと、県内飲食店に勧めている。

セルフオーダー

システム製品「シートダイレクト」

セルフオーダーシステムは、タブレット端末のメニューは、テーブルにあたってから客が自分で手の居酒屋や回転寿司、焼き肉店などで積極的に導入されていく。客が直接入力するためオーダーミスが少なくて、オーダー業務がない分、ホールスタッフを減らせるが、高額で小規模店舗向きではなかつた。

そこで同社は、10席ほどの小さな店でも導入しやすい規格の同じ

セルフオーダーシステムを、注文をするもので、大手の企業は、テーブルにあたってから客が自分で手の居酒屋や回転寿司、焼き肉店などで積極的に導入されていく。客が直接入力するためオーダーミスが少なくて、オーダー業務がない分、ホールスタッフを減らせるが、高額で小規模店舗向きではなかつた。

そこで同社は、10席ほどの小さな店でも導入しやすい規格の同じ



小規模店にお薦めのセルフオーダーシステム「シートダイレクト」

システム「シートダイレクト」を開発。品名と写真、価格が載ったメニューから客が注文を選べど、近距離無線通信Bluetooth(ブルートゥース)で端末から厨房にデータが飛ぶ。シンプルな作りで操作がしやすく、飲み放題の時間管理など、客の要望に沿って内容をカスタマイズできる。テーブルに置かず、店員が手に持つてオーダーを受け付けるスタイルにも適応できる。

タブレット、レシートプリンター、メニュー作成のセットで、価格は50万円。タブレットの台数やメニューの容量で価格が変わり月5千円からの分割払いも可能。メニュー更新の代行(月1千円)も受けれる。

月々の利用料は要らず、大手cheinが使う機器と比べ3分の1ほどの価格。一時給800円のバイトを月20日間雇つよりコストがかからない

5月末までキャンペーンとして県内企業にはタブレット1台を無料で付ける。新型コロナウイルスによる自粛ムードで飲食店の客足が落ち込む中、人件費を減らせ感染防止にもなることから、県内のラーメン店、ピザ店、焼き肉店から注文が入っている。

中島社長(48)は「人手が集まらず休業や廃業に追い込まれる地元企業を見て、力になりたい」と開発した。感染予防対策のPRにもなりと勧めていた。問い合わせや見積もりは電話656-8555まで。